

みずほCustomer Desk Report 2022/06/14号(As of 2022/06/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	135.00 AUD/USD
TKY 9:00AM	134.80	1.0490	141.50	1.2277	0.7021
SYD-NY High	135.22	1.0520	141.77	1.2325	0.7072
SYD-NY Low	133.60	1.0400	139.42	1.2109	0.6911
NY 5:00 PM	134.44	1.0409	139.97	1.2130	0.6927

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,516.74	▲ 876.05	日本2年債	▲0.0500%	0.0300%
NASDAQ	10,809.23	▲530.79	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,749.63	▲ 151.23	米国2年債	3.3646%	0.2984%
日経平均	26,987.44	▲ 836.85	米国5年債	3.4811%	0.2183%
TOPIX	1,901.06	▲ 42.03	米国10年債	3.3608%	0.1968%
シカゴ日経先物	26,450.00	▲ 940.00	独10年債	1.6220%	0.1245%
ロンドンFT	7,205.81	▲ 111.71	英10年債	2.5170%	0.0770%
DAX	13,427.03	▲ 334.80	豪10年債	3.9325%	0.2625%
ハンセン指数	21,067.58	▲ 738.60	USDJPY 1M Vol	14.12%	2.33%
上海総合	3,255.55	▲ 29.28	USDJPY 3M Vol	12.80%	1.43%
NY金	1,831.80	▲ 43.70	USDJPY 6M Vol	12.05%	1.05%
WTI	120.93	0.26	USDJPY 1M 25RR	▲0.62%	Yen Call Over
CRB指数	321.44	▲ 4.37	EURJPY 3M Vol	13.12%	1.30%
ドルインデックス	105.08	0.93	EURJPY 6M Vol	12.45%	1.05%

東京	東京時間のドル円は134.80レベルでオープン。先週金曜日に発表された米5月CPIを受け、次回以降のFOMCにて50bp以上の利上げ観測が高まる中、高止まりしている米金利を横目に仲値にかけて135円を付けると、その後は1998年10月以来となる135.20台まで上昇する展開となった。その後、参院決算委員会にて黒田日銀総裁による「最近の急激な円安の進行は経済にマイナス、好ましくない」との円安牽制発言がなされると134.50割れまで下落。結局134.66レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は134.68レベルでオープンし、手掛かり材料難で動意薄く推移。134.50レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台半ばでスタート。先週発表された米5月CPIが予想を上振れたことを受けて、FRBの利上げペースが加速するの見方が強まる中、米金利の上昇とともに135.22まで上昇し、約24年ぶりの高値を更新。その後、黒田日銀総裁が「最近の急激な円安は経済にマイナス、望ましくない」と円安をけん制する発言が伝わったほか、日本の新発10年国債和利回りが日銀のイールドカーブコントロールの上限を上回ったことが意識され、円買い優勢となる。株式市場の軟調推移を嫌気したリスクオフの円買いもあいまって、134円台前半まで下落。早朝には134円台半ばまで戻し、でNYオープン。朝方は米短期金利の低下と米株先物の下げ幅拡大を受けて円買い継続となり、133.60まで下落。その後、米長期金利が3.3%を突破したことや、米株の下げ渋りを受けて、134.20近辺まで持ち直す。午後は米金利上昇を意識したドル買いと米株の上値重い推移を意識した円買いに板挟みとなり、134円近辺でレンジトレード。その後、一部報道で「今週のFOMCでサプライズの75bp利上げの可能性」について報じられたことから米長期金利が3.4%台まで上昇し、ドル買いも加速したことから一時134.67まで上昇。終盤は134円台半ばでもみ合い、結局、134.44レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05円前半でスタート。米金利上昇にサポートされたドル買いと欧州株の軟調推移を嫌気したユーロ売りが進む中、1.0446まで下押し、1.0447レベルでNYオープン。朝方はオープン前の流れを引き継ぎ、更なる下値模索の展開となり1.1400をつける。1.0450近辺まで反発するも、終盤は上値が重く、結局、1.0409レベルでクロス。

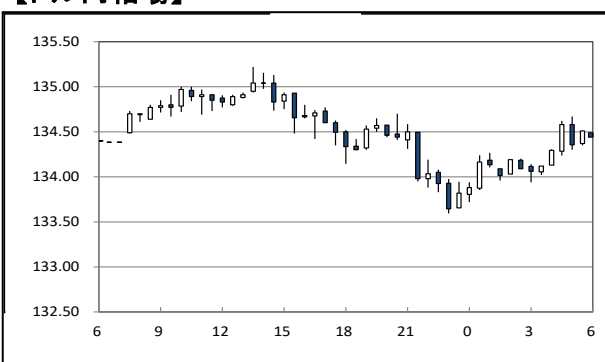
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月13日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -0.6%/0.7%	0.3%/1.7%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	4月 -1%/0.5%	0.2%/1.8%

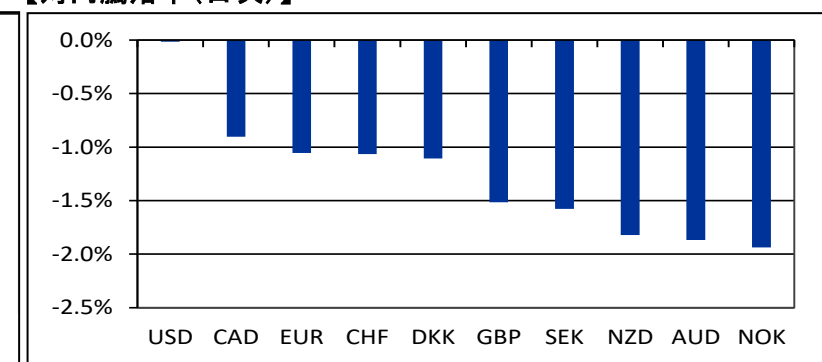
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月14日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 0.9%/7.9%	0.9%/7.9%
	18:00	独 ZEW景気期待指数	6月 -26.8	-34.3
	18:00	独 ZEW調査現状指数	6月 -31.0	-36.5
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	6月 -	-29.5
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 0.8%/10.9%	0.5%/11.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.50-135.20	1.0350-1.0500	138.50-140.50

【マーケットインプレッション】

東京時間ドル円は、134.80レベルでオープン。先週金曜日に発表された米5月CPIを受け、高止まりしている米金利を横目に仲値にかけて135円を付けると、午後には1998年10月以来となる135.22まで上昇する展開となった。その後、参院決算委員会にて黒田日銀総裁による「最近の急激な円安の進行は経済にマイナス、好ましくない」との円安牽制発言がなされると134.50割れまで下落。海外時間に入り、軟調に推移する米株式市場と米長短金利の一時的な逆転等リスクオフの地合いが強まると、ドル円は133.60まで下落。その後は再び米長期金利が3.40%を超える上昇を見せ、次第にドル円は134円台を回復し、結局134.40レベルでクロスした。

本日のドル円は134円台での方向感の出難い展開を予想する。明日のFOMCを前に、FEDによる利上げ観測が一段と高まる中、リスク資産が大幅に続落しており本日もリスクオフ地合いは継続すると見込む。一方、実需勢からのドル買いフローによる下支えも想定され、ドル円は足許水準でのみ合いを基本路線としたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・多川